

第1回校長面接練習を終えて

1、4組は1月20日（金）、2、3組は1月25日（水）に、校長先生による集団面接練習の1回目を実施しました。「冬休みのしおり」の中に面接に関する資料を掲載し、1月の総合、学活では、学級で面接練習を行い、準備を重ねてきたこともあり、1回目の校長面接練習としてはとても良い印象を受けました。（校長先生も同じようにおっしゃられていました。）

その中でも、いくつか気になる点があったので、2回目の校長面接練習、そして本番の入試での面接に生かしてほしいので、ここで全体に共有したいと思います。

① 髪型、服装について

- ・ 全体的に前髪が長い印象を受けました。マスクを着用して面接を行うと、面接官はどうしても表情や感情が読み取りにくくなります。（今回、実際に面接官の位置から見て感じました。）その中で、少しでも表情や感情を読み取る材料として重要になるのが、「まゆ毛」です。マスク着用中、前髪でまゆ毛が見えないと、面接官から見えるのは、「目」だけになります。「目」だけでなく、「まゆ毛」まで見えることで、より表情や感情が面接官に伝わりやすくなると思います。ただ、「絶対に前髪を上げなさい」というわけではないです。マスクをつけて鏡を見ながら自分の表情を確認してみるのも良い練習だと思います。参考にしてください。
- ・ 入試当日、寒いことが考えられますので、制服の下にセーターやカーディガンの着用は大丈夫です。ただ、あまりにも裾や袖から大きく見えていると、だらしない印象になりかねないので、注意してください。また、ポロシャツの下のシャツが胸元から見えている人がいました。アンダーシャツは見えない方が良いでしょう。

② 入室時について

- ・ 入試本番の教室は、どんな扉かわかりません。ただ、いづれにしても自分で扉を開ける場合は、部屋の中に入っても大丈夫なので、しっかり奥まで開けて、扉が止まったことを確認しましょう。「失礼します」のおじぎをしている時に扉が閉まってくると、それだけでパニックになってしまう可能性があります。

③ イスに着席する時について

- ・ 「おかけください」と面接官に言われたら、「失礼します」や「よろしくお願いします」など発声してから着席をします。その際、言葉（「失礼します」や「よろしくお願いします」）は何でも構いませんし、タイミングをそろえる必要もありません。他校の生徒は、何という言葉で着席するかわかりません。もしかしたら、何も言わずに着席するかもしれません。大事なことは、自分が面接官に対して、「失礼します」「よろしくお願いします」という気持ちをしっかり言葉で伝えることです。他の人の発声や行動で動揺して、自分の言葉を言えないことが一番良くありません。集団面接でも面接官と1対1のつもりで、しっかり面接官と向き合しましょう。

④ 学校名、氏名について

- ・ 学校名は5人に1人がうまく言えていませんでした。長めの学校名ですし、「大山崎」を2回言わなければならないので、噛みやすいかもしれません。しかし、自分の通っている学校名ですから、スムーズに言えるように練習しましょう。また、受験番号も聞かれると思いますので、受験番号も言えるように練習しましょう。

⑤ 面接中について

- ・ 無意識だと思いますが、「えー」「あー」「えっと」などが
- ・ 「僕」や「自分」のいう一人称は、「私」の方がよいです。社会に出て、働くようになった時も「私」という一人称が基本です。今から練習しておきましょう。
- ・ 自分の発言中に、目線が動く人が多くいました。面接官は発言している人を見ているので、目線が外れると非常に良くわかります。話している時は、質問をされた面接官の首元（ネクタイの結び目）を見るようにしましょう。
- ・ 他の人が発言している時に、目線がキョロキョロしたり、モゾモゾ動いたりしている人がいました。面接官側から見ると、非常に目立ち、気になります。面接官を見るようにしましょう。
- ・ 声の大きさやスピードは、その人にとってのベストがあると思います。元気に見せたい時は、大きな声ではきはきと、落ち着いて見せたい時は、相手に伝わりやすいようにはっきりと言いながらもゆったりと、など、自分のキャラクターをよく考えて決めましょう。ただ、面接官にとって聞き取りにくかったら意味がありませんので、最低限伝えたいことが伝わる声の大きさやスピードにしましょう。声の高さも影響するかもしれませんね。

⑥ イスから起立する時について

- ・ イスから起立する時も「③ イスに着席する時は」と同じで、面接官に対して「ありがとうございました」という気持ちをしっかり言葉で伝えましょう。ここでも他の人に合わせる必要はないので、面接官と1対1のつもりで、自分のペースで面接官と向き合しましょう。
- ・ 面接の資料映像で「本日はお時間をいただき、ありがとうございました」と言っていたので、同じように言ってくれている人がいました。しかし、集団面接では、挨拶は長くならない方がよいので、「ありがとうございました」で良いと思います。個人面接で、より丁寧に言いたい場合は、「本日は～」でもかまいません。

⑦ 退室時について

- ・ 「ありがとうございました」の挨拶のあと、退室時は順に列を作って、扉近くまで進んでください。そして、前の人挨拶をしやすいように扉手前で待機し、前の方の挨拶が終わったら、扉前に進むようにしてください。集団面接は退室に時間をかけている余裕はないので、できる限りスムーズに全員が退室できることを考えて行動しましょう。
- ・ 扉を自分で開ける場合は、先に扉をしっかりと開けてから面接官に「失礼します」とおじぎをして、退室しましょう。

⑧ 退室後について

- ・ 一番ミスをしてしまうのが、退室後です。緊張から解放されて大きな声で話してしまう人が多いです。高校の敷地を出るまで気を抜くことなく、緊張感を保ちましょう。

面接で最も大切なのは、みなさんの「私はこの高校に入学したい」という想いを面接官（高校の先生）に伝えることです。面接はその想いをアピールする場です。自分の想いが伝えられるように、言葉の選択、表現の仕方、表情などを毎日くり返し練習してください。面接も学習と同じで、毎日の積み重ねでどんどん上達します。友だちや家族にも面接官役になってもらい、どんな状況でも対応できるように経験をたくさん積んで、本番に備えましょう。